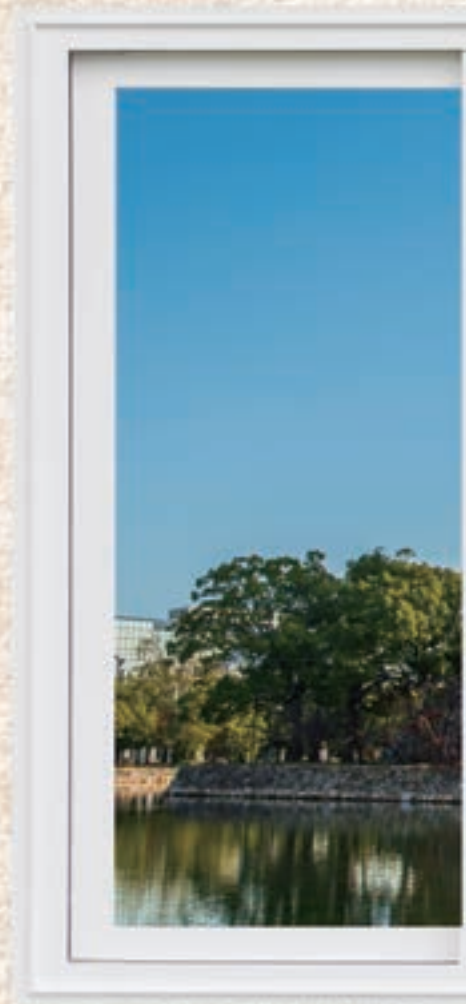




お客さまのあらゆるニーズに対応できる
『地域総合サービスグループ』を
目指してまいります。



【 地域経済の活性化に向けて 】

政府が掲げる成長戦略の一つである「地方創生」において、私たち地域金融機関の役割は重要であると考えています。こうした中、広島銀行・広島電鉄・中国新聞社の地元3社で7月に基本合意を締結した「地域商社事業」が10月1日に始動し、当行は、広島電鉄グループと中国新聞社が出資する、ひろでん中国新聞旅行に資本参加しました。広島市平和記念公園レストハウスの指定管理業務開始に向けた準備や、広島市から新たに受託した圏域特産品の販売事業など具体的なビジネス構築に向けて動き出しています。地元3社のノウハウを活かして、モノの地域外への販売だけでなく、着地型観光の誘致などにも取り組み、人の流れを生むことで地域経済の更なる活性化に貢献していきます。

【 持株会社体制への移行検討開始 】

低金利環境の長期化やキャッシュレス等の進展による異業種との競合が厳しくなる中、地域金融機関を取り巻く経営環境は一層厳しくなることが想定されます。従来のビジネスモデルでは限界があり、経営統合や営業エリアの拡大など、地域金融機関の変革の動きが活発化しています。そのような中、地域社会やお客さまへの更なる貢献と当行グループの企業価値の向上を図るため、グループガバナンスを一層強化しつつ、業務軸を拡大していくなど新たなグループ経営形態への進化が必要であると考え、持株会社体制への移行検討を開始することにしました。地元4県（広島・山口・岡山・愛媛）を基盤として、環境変化に適切に対応しつつ、金融を中心としてお客さまのあらゆるニーズに対応できる「地域総合サービスグループ」を目指します。



〔 〈ひろぎんグループ〉 SDGs宣言 〕

当行では、地域金融機関として「企業の社会的責任」と「長期的なリターンを目指す戦略」の観点から、SDGs/ESGへの各種取り組みを実施しています。9月には、〈ひろぎんグループ〉が一体となり、SDGsへの取り組みを推進し地域社会・経済の活性化等へ貢献していくため、「〈ひろぎんグループ〉SDGs宣言」を策定し、私たち〈ひろぎんグループ〉が取り組むべき課題として、「地域、高齢化、人権、環境」をあげています。具体的には、地域社会・経済の活性化、高齢化社会に対応した金融サービスの提供、ダイバーシティ・インクルージョンや地域のお客さまが安心して暮らせる社会づくり、地球温暖化・気候変動への対応に取り組みます。付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、地域の社会・環境課題の解決と持続的な成長に貢献していきます。

〔 地域のお客さまと共に 〕

当行の経営ビジョンである「地域社会との強い信頼関係で結ばれた、頼りがいのある〈ひろぎんグループ〉を構築する」ため、お客さまへの感謝の気持ちを忘れず、対話による相互理解を深めながら、お客さま本位の業務運営（マーケティング）を徹底していきたいと考えています。私たちは常に、お客さまから真に信頼され、いつでも一番に相談していただける、「ファースト・コール・バンクグループ」でありたいと願っております。皆さまにはぜひ、共に夢を描き続ける仲間として、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 頭取

へやとしお
部谷 俊雄